



# 清流NEWS

〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1

Tel 042-585-1111

発行日 1月・4月・7月・10月

Vol. 84

発行

日野市  
環境共生部  
緑と清流課

## 水と緑を守るために ～公民協働の視点で～

残された日野の自然を守るために。そして、生態系に配慮した育成策を実施して、次の世代に引き継いでいくために。環境保護の意識を自治体と市民が一緒に育てていくことが、今、考えられています。具体的には、市民自治・地域主権の立場に基づき、市民活動団体と自治体とが、さまざまな形態でまちづくりを行なっていく動きのことを公民協働といいます。この公民協働の環境保護版について案内させていただきます。

日野市は、身近な自然を育むという視点で考えますと、昔から住民の皆様のさまざまな活動が根付いていたところ。日野市と市民活動団体が、水と緑を育むという共通の目的で活動しておりますので現在の活動状況を紹介いたします。

### ●緑地管理ボランティア

南平丘陵公園で活動しておられる団体の活動です。

### 健全な雑木林を次世代に

日野市の緑を守るボランティアを育成する「雑木林ボランティア講座」が市民団体の呼びかけにより公民協働で始まり、今年で第6回を迎えます。3年前、第2回の講座が終了

したところで、講座の卒業生が中心となり、南平丘陵公園の雑木林を管理する、ボランティア団体が発足しました。私は、第1回の講座の卒業生でもあり、今まで高尾山、深大寺公園、遠くは尾瀬などのボランティア活動に関わってきた経験があることなどからこの会の代表に選ばれてしまいました。会の名前は「南平雑木林を愛する会」と皆で名づけ、健全な雑木林を次世代に引き継ぐことを目標に楽しく、無理をせず活動し、一人ひとりが、満足感のあるボランティア団体を目指すことをモットーにしています。当面は、雑木林に包まれた南平丘陵公園の緑の管理に全力を挙げ現在は、他の団体の指導、近隣の民地の雑木林の管理のお手伝い等、応援ボランティアも出来る団体となりつつあります。参加大歓迎です!!

(南平雑木林を愛する会代表 橋本 幸久)

### ●身近な河川の清掃

(多摩川・浅川・程久保川)

程久保川の清掃活動を行なっている団体の活動です。

### 「程久保川を考える会」の活動について

程久保川は、日野市の上程

久保を源流とし市内で多摩川に合流する河川で、昔は小魚やウナギも生息していたようです。また、農業用水としてその価値が高く今でも用水組合が存続し地域のコミュニケーションが図られているようです。

程久保川も直線化され側道も整備され、多摩動物公園駅前の暗渠部分が開渠化されつつ上流部分は里山形態を残した農業用水から環境用水へとその価値観が変わり、旧都道には6地藏や庚申塔や馬頭観音や神明神社、秋葉権現神社など歴史的資産も豊富で四季折々の植物や水鳥を見ながら散策する方も多く見られます。そんな川をこよなく愛し、活動を続けているのが「程久保川を考える会」です。

会長をはじめ会員10名程度の小さな会ですが年間を通じて定期的な水質検査や春、秋年2回の「クリーンデー」そして東京都や日野市の関連事業にも積極的に参加し活動しております。平成20年7月には日頃の活動が評価され、平成20年度東京都河川ボランティア表彰(感謝状)を戴きました。

また、「程久保川クリーンデー」には、大勢の方の協力を戴き河川清掃を実施しており、皆様に厚く御礼申し上げます。

(程久保川を考える会 K・A)

●用水守さんの用水清掃活動  
日野市と連携・協働により市内の用水路・河川・湧水の維持管理活動を行なっていたいでいます。

市(担当 緑と清流課)に住所・氏名・連絡先・活動人数等を登録していただき、あらかじめ活動範囲を決めたいで、清掃・保全・緑化等の活動にたずさわっていただいております。

平成14年度から始まった制度で、現在507名、48団体の方(個人・団体・自治会・市民等)がご自分のご希望の場所等、ご都合のよい時間で清掃活動等に従事していただいております。

活動回数・内容については定めがありませんので、用水守さんのできる範囲での活動となります。

用水守さんの活動により、恵まれた水環境を次世代に伝えていきたいという目的は、確実に浸透していると考えています。

しかし、用水守さんの活動範囲はまだまだ、市内の水環境全てを網羅しているとは言えないのが現状です。

これからも、用水守さんになっていただく方を増やすために広報に力を入れていきたいと考えています。

(K・A)